

講義名称	特別支援教育概論
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	社→教職／子→専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	4年前期
必修・選択	社（教職）→自由／子→選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（自由科目につき該当なし）、子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	16302031
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24200312

担当教員

氏名	所属
◎ 三宅 右久	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	障害とは何かを理解することから始め、特別支援教育の歴史と制度、障害の種類と程度に応じた教育の基本を学ぶ。また、特別支援教育の教育課程や支援の方法についても学ぶとともに、障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援についても学習する。
到達目標	特別な支援が必要な幼児、児童及び生徒の障害の特性、心身の発達、さらにその教育課程及び支援の方法を理解する。また、障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援について理解する。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	障害の概念・障害と人権	
	【事前事後学修の内容】	障害児・者に関するニュースを調べる。。障害者の人権についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第2回	【授業計画】	特別支援教育の歴史と制度	
	【事前事後学修の内容】	県内の特別支援学校について調べる。特別支援教育の歴史についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第3回	【授業計画】	特別支援教育の教育課程	
	【事前事後学修の内容】	特別支援学校の教育課程について調べる。知的障害教育に特徴的な指導の形態についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 100
第4回	【授業計画】	障害の理解と支援（1）視覚障害、聴覚障害	
	【事前事後学修の内容】	視覚障害、聴覚障害について調べる。盲学校、ろう学校の教育についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90
第5回	【授業計画】	障害の理解と支援（2）肢体不自由、病弱	
	【事前事後学修の内容】	肢体不自由、病弱について調べる。肢体不自由特別支援学校、病弱特別支援学校の教育についてまとめる。	【事前事後学修時間（分）】 90

第6回	【授業計画】	障害の理解と支援 (3) 知的障害	
	【事前事後学修の内容】	知的障害について調べる。知的障害特別支援学校の教育についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 100
第7回	【授業計画】	障害の理解と支援 (4) 言語障害、重複障害	
	【事前事後学修の内容】	言語障害について調べる。言語障害特別支援学級の教育と医療的ケアについてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 110
第8回	【授業計画】	障害の理解と支援 (5) 自閉症、情緒障害	
	【事前事後学修の内容】	自閉症について調べる。自閉症スペクトラムへの対応についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 90
第9回	【授業計画】	障害の理解と支援 (6) LD、ADHD	
	【事前事後学修の内容】	LD、ADHDについて調べる。LD、ADHDへの対応についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 90
第10回	【授業計画】	通級による指導及び自立活動	
	【事前事後学修の内容】	自立活動について調べる。通級指導教室の教育についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 60
第11回	【授業計画】	特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の実態把握	
	【事前事後学修の内容】	特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の国の調査について調べる。小・中学校、高等学校における対応についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 100
第12回	【授業計画】	個別の指導計画及び個別の教育支援計画と指導方法	
	【事前事後学修の内容】	個別の指導計画、個別の教育支援計画と指導の関係をまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 90
第13回	【授業計画】	特別な支援が必要な障害のない幼児児童生徒	
	【事前事後学修の内容】	障害の定義について再確認する。事例を通して支援の在り方についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 90
第14回	【授業計画】	福祉、医療、労働との連携	
	【事前事後学修の内容】	障害者手帳について調べる。医療、労働との連携についてまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 90
第15回	【授業計画】	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	これまでの講義資料を通読し、講義の要点をまとめる。	【事前事後学修時間 (分)】 120

履修に必要な予備知識や技能	新聞やテレビを通して伝えられる特別支援教育に関する内容について関心を持ち、分からないことがあればすぐに調べる。
課題に対するフィードバック	小テスト及び課題レポート実施の翌週に振り返りを行う。
評価方法・基準	小テスト40%、課題レポート提出30% 授業への参加度30%

教科書	教科書：特別支援教育－共生社会の実現に向けて－ 小林秀之／米田宏樹／安藤隆男編著 ミネルヴァ書房 教科書の該当ページを開きながら、解説する。 参考書：特別支援学校教育要領・学習指導要領解説（自立活動編）文部科学省
備考	小テスト及び課題レポートにより、知識の定着を図る
実務経験の内容・期間	小学校特別支援学級教員 1年 家庭児童相談室家庭相談員 6年 児童相談所児童心理司16年（心理判定係長15年） 児童相談所担当所長 2年 臨床心理士22年 公認心理師6年